

聾学校小学部における教科学習の内容理解につながる

「みる力・きく力」を高める自立活動

—発達段階と聴覚障害の特性を関連させた「みるきくパッケージ」の作成と活用を通して—

研究構想図

長期研修員 浅見 直子

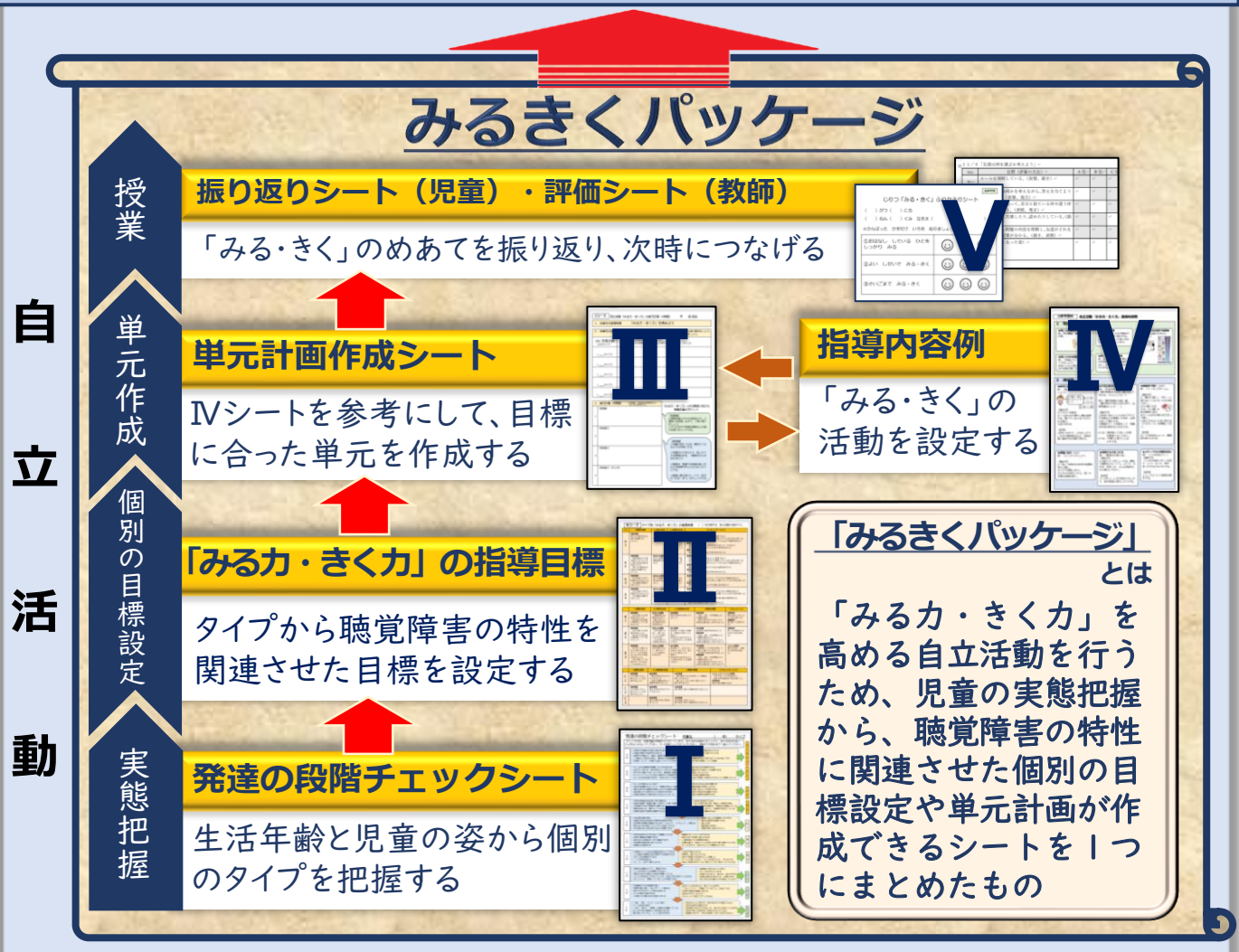


・友達の発表に注目したら、色々な考え方があることに気付いた！
・どんな話を考えながら「みて・きいて」いたら、話の内容が理解できた！
・友達と意見交換をすると、新しい考えが浮かんだり、考え方がまとまったりした！

日々の授業で、「みる・きく」姿を引き出していこう



「みる力・きく力」が高まり、円滑で的確な意思の相互伝達ができる児童



「みる力・きく力」を高めて
児童同士のコミュニケーションを良好にしたい

児童の姿

聞こえにくさから、入る情報が少なかったり断片的だったりするために、誤解や勘違いが生じやすい。

教師の姿

児童同士の意思疎通がスムーズでないために、教師が会話の仲介に入ることが多い。

「みる・きく」
とは

相手に注意を向け、話の内容を正確に理解・記憶し、共感的に見たり聞いたりして反応を相手に示す行為

「みるきくパッケージ」を活用した自立活動の実際 (A児の場合)

実態把握

Iシート	<ul style="list-style-type: none"> □ 誰のなかで友達と協力できる □ 二者関係から三者関係を築く □ 自分の気持ちや行動を振り返ることができる □ ルールを守り、言われたことを聞きにしやすい 	B2
<ul style="list-style-type: none"> □ 20~30分間集中でき、構造化した活動を好む □ 手順がいくつかある活動を終わりにできる □ 人の動きや騒音がある場所でも活動に集中できる □ 自分と他者の似ている/違うところに気付くようになる □ ゲームに勝つため、ルールを変えたりズルをしてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> □ 100まで数えられる □ 2, 5, 10ずつ数えられる □ 何事も一番になりたがる □ 本を読んだり見たりするのを楽しむ □ 自分の間違いを認めることが難しい 	B3
<ul style="list-style-type: none"> □ 簡単な計画を立てて、準備できる □ 1つの方法でしか物事を行うことができない □ 曜日が分かり過去と未来を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> □ 直感的に考えることが多い □ ルールを守ろうとする □ 友達と分け合ったり友達を助けたりでき 	C

Aさんは話し手をぼんやりと見ていることが多いな。他者の意見にも興味をもたせたい。



個別の目標設定

IIシート	1 心理的な安定	2 3人関係の形成	3 4 状況把握	5 コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> □ 1 相手の対応 情緒保障の必要性を知る(3) □ 2 相手の気持ちを受け入れる (1,2) □ 3 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 4 マナー 生活の中で自分立てていようがあることを意識する(4) □ 5 状況把握 補聴器や人工耳を活用して注意して聞こうとする(1,2) □ 6 感覚活用 手話、口形、文字情報などから情報を得る(3,4) □ 7 コミュニケーション 言語受容 必要を感じたときに見る/聞く(2) □ 8 言語表出 	<ul style="list-style-type: none"> □ 1 困窮への対応 自分が聞えない、聞えにくいことを相手に伝える(3) □ 2 他者理解 話を聞いて友達との類似点、相違点に気付く(3) □ 3 マナー 生活の中で自分立てていようがあることを意識する(4) □ 4 状況把握 補聴器や人工耳を活用して注意して聞こうとする(1,2) □ 5 感覚活用 手話、口形、文字情報などから情報を得る(3,4) □ 6 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 1 困窮への対応 自分が聞えない、聞えにくいことを相手に伝える(3) □ 2 他者理解 話を聞いて友達との類似点、相違点に気付く(3) □ 3 マナー 生活の中で自分立てていようがあることを意識する(4) □ 4 状況把握 補聴器や人工耳を活用して注意して聞こうとする(1,2) □ 5 感覚活用 手話、口形、文字情報などから情報を得る(3,4) □ 6 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 1 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 2 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 3 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 4 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 5 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 6 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 7 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) □ 8 コミュニケーション 相手の話を聞きながら自分の話を伝える(3) 	

Aさんには、「色々な考え方があることに気付く」この力を付けたいな。

単元作成

IIIシート 個別の目標を書き入れる

IVシート を参考にした活動

授業の計画を立てる

2 技能編(続き)

●条件に合うものを選び、今日の夜、食べたいものはどれでしょう?

1. ○さんが、

【進め方】

①イラストを配る。

②一人前に出て、食べ方を説明する。あやまってはいけない。

③聞いている人は選ぶ。

④答え合わせ [応用]

*印をつけたら、メモをしたり

Aさんが「見たい!」と思う楽しい活動を取り入れよう。



友達とのやりとりを増やせば、色々な考えに気付けるはずだ。

授業

- 「友達は何を選ぶか考えよう」
- ①自分の好みを発表する
- ②友達の良い点を予想する
- 「友達は何を選ぶかな? 質問をして当てよう」
- 選択肢を増やして、友達の良い点を当てよう。
- 質問タイム3分、相談タイム3分
- 「写真を見て、気持ちを想像しよう」
- 写真に写る人物の表情や背景を参考にしながら、吹き出しに入る気持ちを考える。
- 【進め方】
- 一人ずつ前が出る。数字を選んで出た写真を見る。気持ちを想像して、発表する。
- 「みんなで答えを合わせよう」
- みんなが答えそうな答えを考えて答える。
- 【進め方】
- 考える時間は1分。全員同じ答えだったらクリア!



絶対...だと思う。

あれ?○○さんは違うの?

そうか、色々な考え方があるんだね。

Vシート より抜粋 (A児の振り返り)

写真を見て、みんなの意見がとておもしろかった。

教科学習でも、友達の考えを「みる・きく」場面をつくろう。



成果

「みるきくパッケージ」で個別の目標が明確になり、実態に合った単元計画が作成でき、注視する、理解する、反応を返すなどの「みる・きく」姿が増えた。

課題

自立活動で高めた力を教科学習で発揮させるには、児童同士の「みる・きく」姿を表れる活動を意図的に組み入れる教科の指導の工夫が必要である。

提言

教科学習との関連を意識しながら、自立活動で計画的に「みる力・きく力」を高める学習を行い、教科学習の内容理解につながる力を育てましょう。